

2023年1月22日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第65巻第40号(通算3322号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと ととも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

## こうたんせつだい しゅじつれいはい 降誕節第5主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば へん せつ  
招きの詞 詩編 27編 1節

さんびか ばん しゅ  
賛美歌 21-207番「ほめよ主を」(©JASRAC)

せいしよ しょう せつ  
聖書 イザヤ書 9章 1-4節

いの  
お祈り

さんびか ばん なか  
賛美歌 21-280番「まぶねの中に」(©JASRAC)

メッセージ「大なる光」 岡嶋 千宙 伝道師

さんびか ばん へいわ もと ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 21-561番「平和を求めて」(©著作権消滅)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

たんじやうしゃしゆくふくしき おかじま ちひろ でんどうし  
誕生者祝福式(\*) 岡嶋 千宙 伝道師

ささげもの  
献げ物(\*\*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく おかじま ちひろ でんどうし  
祝福 岡嶋 千宙 伝道師

こうそう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後奏 コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほうこく ばん さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで1月生まれの方(と今年度1月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 27 編 1 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)  
ダビデの詩。

主はわが光、わが救い。

私は誰を恐れよう。

主はわが命の<sup>とりで</sup>砦。

私は誰におののくことがあるろう。

聖書 イザヤ書 9 章 1-4 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。

<sup>2</sup>死の陰<sup>かげ</sup>の地に住んでいた者たちの上に光<sup>かがや</sup>が輝いた。

<sup>2</sup>あなたは<sup>a</sup>その国民を増やし

その喜びを大きくされた。

彼らはあなたの前に喜んだ。

収穫を喜ぶように

戦利品を分けて喜び躍<sup>おど</sup>るように。

<sup>3</sup>彼らの負<sup>お</sup>う軛<sup>くびき</sup>、その肩<sup>つえ</sup>の杖<sup>しいた</sup>、虐<sup>むち</sup>げる者の鞭を

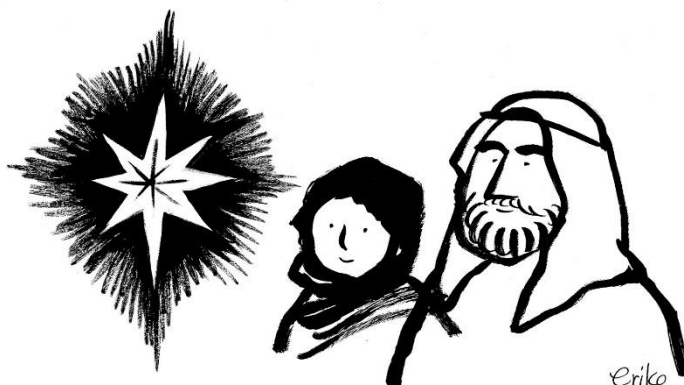
あなたがミデヤンの日のように

打ち砕いてくださった。

<sup>4</sup>地<sup>ふ</sup>を踏み鳴らした兵士の靴<sup>くつ</sup>と血にまみれた服は

すべて焼かれ、火<sup>えじき</sup>の餌食となった。

(脚注 a : 直訳「そのために国民」)



《先週のメッセージより》 2023年1月15日

「一人では負いきれないけど、必ず隣有り」より

牛田匡牧師

聖書 出エジプト記 18章13-27節

今回の聖書は「出エジプト記」のお話でした。エジプトでの奴隷生活から、古代イスラエル人たちが神様によって脱出させられた物語ですが、それを率いたリーダーがモーセでした。その人数は聖書によると何十万人だったと記されていますが、それほど多くの人々を前にして、モーセが一人で相談に乗り、裁判をし続けるのは不可能です。ですので、何人かずつ集まって組を作り、それぞれにリーダーを立て、それらを束ねて、縦に連なる組織を作っていました。とはいえ、このようなお話は恐らく歴史的事実ではなかっただろうと考えられています。しかし仮に、実際の彼らの人数や組織がどれだけ少なく、小さかったとしても、彼らが「命の神によってエジプトでの困窮生活から救い出された」という自己理解を持っていたということに違いありません。

このお話に何度も登場する「裁く」という言葉があります。この言葉は、必ずしも「白黒」決着をつける裁判だけを表わす言葉ではなかったようです。モーセより後の時代に、異民族の襲来に古代イスラエルの民を率いて戦った「士師」と呼ばれる指導者たちがいますが、その呼称も「裁く」という同じ言葉でした。つまり「裁き」という言葉は、常に「正義（抑圧からの解放）」を実現するように働くこととして、広い意味で理解するのがよいのではないかと思います。このお話を通して私たちに示されていることは、民の組織体制の確立や、裁判の効率化、ということではなく、むしろ一人では負いきれないような重荷、重責、課題であっても、そこには必ず助けてくれる仲間がいる、決して一人ではない、ということではないでしょうか。

大震災などの時も、「もう駄目だ」「絶望しかない」という時にも、気が付くとそこには助けをくれようとする隣人の姿がありました。「必ず隣有り」、言葉を換えれば、「あなたは一人ではない、孤独ではない」ということです。何故、そのようなことが言えるのか。それは、私たち、神様から命を与えられ、生かされている全ての人々は、「インマヌエル（我らと共にいます神）」のイエス・キリストと共にいるからです。私たちは、今、この時も、命の神の中に生かされている者として、隣にいる弱く小さくされ、抑圧されている友たちの所へ、「あなたは一人ではない」「神様が共にいて下さる」ということを身をもって証しし、示し伝えるために、それぞれの場所、時、そしてやり方で、遣わされています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 1月15日 降誕節第4主日礼拝

主日礼拝出席 大人7名 こども1名 中継動画再生数 10回  
 献金 大人5,000円 感謝  
 さんのご家族が初めて来会されました。

◎次週 2023年1月29日(日) 河内地区講壇交換礼拝(降誕節第6主日礼拝)

招きの詞 詩編 100編 1b~3節  
 聖書 ローマの信徒への手紙 14章 7-9節  
 メッセージ 「生きる時も死ぬ時も」 浅見覚牧師(枚岡教会)  
 賛美歌 21-6番(©教団)、21-529番(©JASRAC)、21-504番(©JASRAC)  
 礼拝はインターネットで中継いたします。

河内地区有志教会の講壇交換礼拝として、枚岡教会(東大阪市)の浅見覚牧師が来て下さいます。牛田牧師は枚岡教会に行きます。

◎お知らせ

- ・昨日、大浦農園(かつらぎ町)へ、「縁農」で玉ねぎの苗つけのお手伝いに行ってきた。大人4名、子ども6人の参加でした。どうもありがとうございました。
- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもどうぞご参加ください。
- ・本日の午後に枚岡教会にて予定されていた河内地区婦人会は、コロナ感染が拡大しているために延期になりました。
- ・新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの流行が続く、大阪府の新型コロナ警戒信号は「赤色」になっています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・1月28日(土)13:30~16:30に京都YWCAにて「生きづらさの声を聴く」というセミナーが開催されます。ZOOMを利用しオンラインで参加することも可能です。参加費は一般が1,000円、学生500円です。詳細・お申し込みは右のQRコード、もしくは下記URLをご確認ください。

<https://onl.bz/aaJqtUX>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/29	浅見牧師	(河内地区・枚岡教会との講壇交換礼拝)
2/5	水谷牧師	聖餐式
2/12	牛田牧師	(信教の自由を守る日) 教会を考える会
2/19	牛田牧師	聖書を読む会?

関西セミナーハウス活動センター 2022年度 修学祭フォーラム「福祉」第3回 共催 公益財団法人日本キリスト教文化協会 関西セミナーハウス活動センター 京都YWCA 公開講座 公益財団法人 京都YWCA

## 生きづらさの声を聴く

会場とオンライン (Zoom)

### コロナ禍の子ども・若者の権利侵害

講師 長瀬 正子 (佛教学部社会学部准教授)

コロナ禍の中、子ども・若者のメンタルヘルスの不調が明らかになっています。「しんどい」を言える場所と誰かとのつながりが奪われている現在、社会の中で孤立しがちな、社会的養護出身の若者や、大人にSOSを出しにくい子どもの「生きづらさ」が見逃されていないでしょうか。その声を聴くことから、子ども・若者の権利が侵害されている現状を知り、この生きづらい社会を少しでも変えていくための自分のアクションを考えよう「はなしあい」の時間を共に持ちましょう。

日時 2023年 1月28日(土) 13:30~16:30  
 参加方法 京都YWCAへ来場 または Zoomによるオンライン  
※会場への参加は要予約です。

参加費 一般 1,000円、学生 500円  
※お申し込みは必ずお申し込みください。

**【要申込】**申込フォーム(裏面QRコード)、FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込みください。

当日、会場内に「ちいさなとびら」の絵本を展示します。

---

長瀬 正子 (ながせ まさこ) 佛教学部社会学部准教授  
 社会的養護で育つ子どもや若者の権利を保障するための理念や方法について研究。児童養護施設で育った若者が立ち上げたCVV (Children's Views and Voices) の運営を担い、インターナショナル・フォスターケア・アライアンス (IFCA) にもかわる。子どもとおとなの対話を助ける絵本を紹介したwebサイト「ちいさなとびら」(https://chisanatobira.exblog.jp/)を運営。日本社会に子どもの権利の視点を広める「子どもの権利・きもちプロジェクト」代表 (https://note.com/kodomokenri)。  
主な著書に、『子どもアドボカシーと当事者参画のモヤモヤとこれから』(共著、明石書店、2021年)他。